

北田伸一（2013年度日本英語学会新人賞受賞）

このほど、拙論 *A Theory of Linearization and Its Implication for Boundedness of Movement* (*English Linguistics*, 29:2, 2012)が、2013年度日本英語学会新人賞に選出され、平成25年11月9日の福岡大学で開催された総会において表彰されました。まずは、選出していただいた学会賞委員会ならびに事務局の先生方に深く感謝申し上げます。また、本論文は2011年に東北大学大学院に提出した博士論文に基づいたものであり、ご指導いただいた東北大学大学院英語学研究室の指導教員の先生方、そして、ともに切磋琢磨してきた先輩方や後輩達へも感謝を申し上げます。さらに、学会やワークショップ等の研究発表においてさまざまな貴重なコメントをしていただいた方々にも感謝申し上げます。本論文は色々な方々に「種」を蒔いていただき、「水」を与えていただきました。今回の新人賞受賞という「花」がそのような方々への少しもの恩返しとなっていれば幸いです。

平成25年4月からは、大学教員として教鞭をとるようになり、毎日、学生達から良い刺激を受けながら研究・教育に従事しております。そのような刺激を与えてくれる学生達に、今回の新人賞受賞に至るまでの論文執筆過程で私が感じてきた「研究は非常に魅力的な知的活動である」ということを伝えることができればと思っております。そのためにも、私自身が常に好奇心と向上心を持って研究・教育に取り組み続けていこうと思っております。もちろん、研究も教育も万事うまくいくことは少ないですが、「焦らず、弛まず、遅々として進む」と考えて、日々、地道にコツコツと努力していこうと思っております。

最後になりましたが、日本英語学会新人賞をいただき、誠にありがとうございました。